

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	施設管理事業			会計	款	項	目	大	事	小	事
				01	02	01	07	01	01		
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）			主管課		財産活用課				
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営			主管課長		石川 博一				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	本庁舎及び公用駐車場の公用財産	意図	維持管理費の削減に努めながら適正に管理する。
事業内容	維持管理費用及び光熱水費等の削減を図りながら、市民及び職員が最良の環境下で利用できる公用財産を提供する。			
事業開始から現在までの状況変化	本庁舎建設から30年が経過し、建物及び設備の老朽化が進み計画的な補修が必要となる。財政の厳しい状況下で、大規模な補修事業の実施が困難であるものの補修箇所を限定しつつ、維持管理予算の削減に努めている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	維持管理費	66,283	71,080	76,182	千円	↓↓↓	
②	光熱水費	18,989	21,302	23,024	千円	↓↓↓		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 光熱水費が増加している。引き続き、良好な施設環境の保持に配慮しながら、節電等に努める。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		66,282,860	77,792,345	82,774,384				
事業費(b)(円)		66,282,860	71,080,345	76,182,384				
うち一般財源		66,282,860	71,080,345	76,182,384				
職員給与費(c)(円)			6,712,000	6,592,000				
人役・職員(人)			1.00	1.00				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	優先順位をつけて施設の修繕を行っていく。	③取組における課題(Check)	建築後30年が経過し、庁舎の老朽化が進み大規模な改修が必要。
②H30に実施した取組(Do)	第1庁舎トイレ修繕、サイン修繕（第1・2庁舎）、雨漏り修繕（第2、4庁舎）、エアコン修繕（作業員詰所、第5庁舎）等の修繕を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	大規模改修の計画を策定し、計画的に改修を進める。